

## 令和3年第3回定例会

# 三沢市議会会議録

第4号（令和3年9月17日）

### ◎議事日程

- （決算審査特別委員会審査報告）
- 第1 認定第1号 令和2年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定について
- 第2 認定第2号 令和2年度三沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 第3 認定第3号 令和2年度三沢市食肉処理センター特別会計歳入歳出決算認定について
- 第4 認定第4号 令和2年度三沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 第5 認定第5号 令和2年度三沢市高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 第6 認定第6号 令和2年度三沢市水道事業会計決算認定について
- 第7 認定第7号 令和2年度三沢市下水道事業会計決算認定について
- 第8 認定第8号 令和2年度三沢市立三沢病院事業会計決算認定について

---

### 日程第1から日程第8の議事

1. 委員長の審査報告
  2. 委員長報告に対する質疑
  3. 討論
  4. 採決
- 

（予算審査特別委員会審査報告）

- 第9 議案第54号 令和3年度三沢市一般会計補正予算（第3号）
- 

### 日程第9の議事

1. 委員長の審査報告
  2. 委員長報告に対する質疑
  3. 討論
  4. 採決
- 
- （条例等審査特別委員会審査報告）
- 第10 議案第55号 三沢市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
- 第11 議案第56号 行政手続における押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 第12 議案第57号 三沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第13 議案第58号 三沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第14 議案第59号 三沢市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について
- 第15 議案第60号 財産の取得について
- 第16 議案第61号 財産の取得について
- 第17 議案第62号 財産の取得について
- 第18 議案第63号 財産の取得について
- 第19 議案第64号 財産の取得について
- 

### 日程第10から日程第19までの議事

1. 委員長の審査報告

2. 委員長報告に対する質疑
  3. 討 論
  4. 採 決
- 

(基地対策特別委員会請願審査報告)

第20 請願第1号 日米地位協定の抜本的見直しに関する請願

---

日程第20の議事

1. 委員長の審査報告
  2. 委員長報告に対する質疑
  3. 討 論
  4. 採 決
- 

(総務文教常任委員会請願審査報告)

第21 請願第2号 「学校給食の無償化」に関する請願

---

日程第21の議事

1. 委員長の審査報告
  2. 委員長報告に対する質疑
  3. 討 論
  4. 採 決
- 

(本定例会に追加提出された事件)

第22 議員提出議案第5号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書  
(案) の提出について

---

日程第22の議事

1. 提案理由の説明
  2. 委員会付託省略
  3. 質 疑
  4. 討 論
  5. 採 決
- 

第23 基地対策特別委員会中間報告

第24 移住・定住促進対策特別委員会中間報告

第25 産業建設常任委員会所管事務調査報告

第26 民生常任委員会所管事務調査報告

---

#### ◎本日の会議に付した事件

- (決算審査特別委員会審査報告)
- 第1 認定第1号 令和2年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定について
  - 第2 認定第2号 令和2年度三沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
  - 第3 認定第3号 令和2年度三沢市食肉処理センター特別会計歳入歳出決算認定について
  - 第4 認定第4号 令和2年度三沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
  - 第5 認定第5号 令和2年度三沢市高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
  - 第6 認定第6号 令和2年度三沢市水道事業会計決算認定について
  - 第7 認定第7号 令和2年度三沢市下水道事業会計決算認定について
  - 第8 認定第8号 令和2年度三沢市立三沢病院事業会計決算認定について
- 

日程第1から日程第8の議事

1. 委員長の審査報告
  2. 委員長報告に対する質疑
  3. 討 論
  4. 採 決
- 

(予算審査特別委員会審査報告)

第9 議案第54号 令和3年度三沢市一般会計補正予算(第3号)

---

日程第9の議事

1. 委員長の審査報告
  2. 委員長報告に対する質疑
  3. 討 論
  4. 採 決
-

(条例等審査特別委員会審査報告)

第10 議案第55号 三沢市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

第11 議案第56号 行政手続における押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

第12 議案第57号 三沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第13 議案第58号 三沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

第14 議案第59号 三沢市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について

第15 議案第60号 財産の取得について

第16 議案第61号 財産の取得について

第17 議案第62号 財産の取得について

第18 議案第63号 財産の取得について

第19 議案第64号 財産の取得について

日程第10から日程第19までの議事

1. 委員長の審査報告
2. 委員長報告に対する質疑
3. 討論
4. 採決

(基地対策特別委員会請願審査報告)

第20 請願第1号 日米地位協定の抜本的見直しに関する請願

日程第20の議事

1. 委員長の審査報告
2. 委員長報告に対する質疑
3. 討論
4. 採決

(総務文教常任委員会請願審査報告)

第21 請願第2号 「学校給食の無償化」に関する請願

日程第21の議事

1. 委員長の審査報告
2. 委員長報告に対する質疑
3. 討論
4. 採決

(本定例会に追加提出された事件)

第22 議員提出議案第5号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)の提出について

日程第22の議事

1. 提案理由の説明
2. 委員会付託省略
3. 質疑
4. 討論
5. 採決

第23 基地対策特別委員会中間報告

第24 移住・定住促進対策特別委員会中間報告

第25 産業建設常任委員会所管事務調査報告

第26 民生常任委員会所管事務調査報告

#### ◎出席議員 (18名)

議長	1番	小比類巻 雅彦	君
副議長	12番	瀬崎 雅弘	君
	2番	久保田 隆二	君
	3番	船見 昌功	君
	4番	小比類巻 孝幸	君
	5番	田嶋 孝安	君
	6番	遠藤 泰子	君
	7番	下山 光義	君
	8番	佐々木 卓也	君
	9番	奥本 菜保巳	君
	10番	澤口 正義	君

1 1 番 加 澤 明 君  
1 3 番 西 村 盛 男 君  
1 4 番 春 日 洋 子 君  
1 5 番 堀 光 雄 君  
1 6 番 馬 場 騎 一 君  
1 7 番 堤 喜一郎 君  
1 8 番 森 三 郎 君

---

◎欠席議員（0名）

---

◎説明のため出席した者（15名）

市 長 小檜山 吉 紀 君  
副 市 長 米 田 光一郎 君  
政 策 部 長 佐々木 亮 君  
総 務 部 長 山 崎 徹 君  
財 務 部 長 村 井 拓 司 君  
市民生活部長 工 藤 雅 則 君  
福 祉 部 長 篠 田 浩 一 君  
経 済 部 長 吉 村 聖 育 君  
建 設 部 長 松 橋 一 典 君  
上下水道部長 高 橋 徳 孝 君  
総 務 部 参 事 大 塚 勤 光 君  
兼 秘 書 課 長  
三沢病院事務局長 田 辺 正 英 君  
消 防 長 斗 米 義 一 君  
教育委員会教育長  
職 務 代 理 者 立 花 肇 君  
教 育 委 員  
教 育 部 長 立 崎 裕 輔 君

---

◎職務のため出席した職員

事 務 局 長 蹤 揚 光 昭 君  
庶 務 係 長 織 笠 信 吾 君  
主 査 白 銀 壮太郎 君  
主 査 福 士 史 君

午前10時00分 開議

○議長（小比類巻雅彦君） おはようございます。

出席議員は定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。

これより、本日の会議を開きます。

ここで、議長を交代します。

○副議長（瀬崎雅弘君） 議長を交代しました。

### ◎ 感謝状の伝達

○副議長（瀬崎雅弘君） 議事に入る前に、ここで全国市議会議長会第97回定期総会におきまして、全国市議会議長会会长から感謝状を贈呈される方に対し、その伝達を行います。

局長がお呼びしますので、演壇の前までお越し願います。

○議会事務局長（蹴揚光昭君） お呼びいたします。

全国市議会議長会評議員としての感謝状、小比類巻雅彦議員。

○副議長（瀬崎雅弘君） 感謝状。三沢市小比類巻雅彦殿。

あなたは、全国市議会議長会評議員として、会務運営の重責に当たられ、本会の使命達成に尽くされた功績は、誠に顕著なものがありますので、第97回定期総会に当たり深甚な感謝の意を表します。

令和3年5月26日、全国市議会議長会会长清水富雄。

おめでとうございます。（拍手）

（感謝状手交）

○副議長（瀬崎雅弘君） ここで、議長を交代します。

○議長（小比類巻雅彦君） 議長を交代しました。

本日の議事は、お手元に配付しております議事日程第4号をもって進めます。

### 日程第8 認定第8号まで

○議長（小比類巻雅彦君） 日程第1 認定第1号令和2年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定についてから日程第8 認定第8号令和2年度三沢市立三沢病院事業会計決算認定についてまでの計8件を一括議題とします。

決算審査特別委員会の審査報告書は、お手元に配付したとおりです。

委員長、補足して報告する事項はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） ただいまの委員長報告に対し、質疑を行いますが、通告がありませんので、質疑を終結します。

次に、討論を行います。

なお、認定第1号に対する討論の通告がありますので、発言を許します。

奥本菜保巳議員。

奥本議員。

○9番（奥本菜保巳君） 認定第1号令和2年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定について、一部反対の立場で討論いたします。

国内では、令和2年1月16日にはじめて新型コロナウイルスの感染が確認、発表されました。その後、3月には世界的大流行・パンデミックが起こり、日本でも感染が広がっていました。

令和2年度の社会情勢は、首都圏を中心に感染拡大が繰り返され、そのたびに緊急事態宣言が発出、その影響を受けた飲食店や観光業、その関連業者、生活者は、大打撃を受け続けました。災害級とも国難とも言われる厳しい状況が長引く中、新型コロナウイルス感染抑止の対策は、政府の迷走と無為無策により医療逼迫を引き起こし、混乱を招きました。

三沢市令和2年度は、このような社会情勢の中での予算執行となったわけです。三沢市の一般行政事業の中で、感染症対策の関連経費の財源は、国・県からの補助金と感染症の影響により中止や縮小となった事業予算をコロナ対策に組み替えて充てたと認識しています。

### ◎日程第1 認定第1号から

す。市議会でも、行政視察などの経費をコロナ対策に充てるよう組替えを申し出た経緯があります。

何よりも、新型コロナウイルス感染防止対策、そしてコロナ禍で経済的な打撃を受け、困窮する方々への支援事業の執行を最優先にすべきことは言うまでもありません。

三沢市としても様々な支援策を打ち出しました。飲食店への20万円の給付をはじめ、対象を全事業者に拡大し給付、プレミアム飲食券の発行、大学生への10万円給付、事業所への感染予防の備品や機器等購入に対する助成事業もありました。高齢者、妊産婦、児童等にインフルエンザ予防接種の無料化なども実施されました。

しかしながら、それらの財源は国頼みで、スピード感に欠けると市民から指摘されていました。また、これらの支援策は、他市町村でも実施されている事業もあります。本当に支援が必要な市民への生活支援策がもっと必要であったと思います。

私は今回、特に移住・定住対策費としての1億3,700万円の三沢市単独の財源についてとプレミアム飲食券事業について、税金の公平な使い方、費用対効果の点で実効性があるのか疑問に思っています。

まず、移住・定住対策についてですが、三沢市内に住宅を取得し定住する方に対し、最大330万円の助成を実施となっています。令和2年度は77件となっています。単純に割ると、1件当たり178万円の助成となります。税金の公平な使い方としてどうでしょうか。1年で大体150棟の住宅の建築があったようですが、約半数の方々は助成金なしで家を建てていることになります。

また、おいらせ町への人口流出もあります。三沢より安い土地、安い借家、子育て支援が充実しているまちということが要因ではないでしょうか。抜本的に費用対効果について精査し、検証が必要であると思います。

プレミアム券についても、お金のある方が購入し、主に全国チェーン店で利用するとな

ると、支援が本当に必要な地元飲食店に還元されているのか、検証が必要だと思います。

支援策は、困窮している方々を救うことが目的であり、税の再分配機能を働かせることにあります。

以上の観点から、私は当該決算に対し、一部反対を表明いたします。

○議長（小比類巻雅彦君） 次に、船見昌功議員。

船見議員。

○3番（船見昌功君） 私は、認定第1号令和2年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定について、賛成の立場で討論いたします。

本市の財政は、少子高齢化の進展に対応する社会保障施策に要する経費の増加や老朽化に伴う公共施設の大規模改修等、多くの財政需要が見込まれる中、地方交付税等の一般財源については大幅な増加が期待できないなど、厳しい環境下にあると感じております。加えて、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う対策が急務となったことなど、例年以上に厳しいかじ取りが求められたことだと思います。

こうした中、令和2年度一般会計の決算状況は、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率に関しては、前年度より1.3ポイント減となっており、財政の健全性を示す健全化判断比率については、実質公債費比率で前年度と比較し0.1ポイント減の10.0%、将来負担比率については15.3ポイント減の59.4%と大きく改善しております。これもひとえに計画的、効率的に堅実な財政運営に努めた結果であると高く評価するものであります。

また、事業の実施内容を見ますと、新型コロナウイルス感染症対策では、国の施策による特別定額給付金給付事業に加え、市内事業者に対する支援助成金の支給、プレミアム飲食券の販売による経済対策を講じたほか、学校等をはじめとした各種施設においては、感染防止対策用品を整備し、地元三沢を離れて暮らす学生たちには生活応援金を給付するな

ど、様々な観点から多くの対策が施され、歳出決算総額の約18%に当たる50億円の予算が投入されております。

また、これらの事業実施には、財源として国費を充当することに加え、財政調整基金の投入や感染症の影響により中止や縮小となつた事業予算を組み替えるなど、13回にわたる補正予算を編成し、健全な財政維持に取り組まれており、将来を見据えた財政運営が適切に行われたものと考えます。

また、新型コロナウイルス感染症対策に力を注ぐ一方、市民生活に密着した関連施設等の整備や増加する社会保障施策などへの対応を推進したほか、移住・定住の推進、子育て施策の充実、暮らしに直結する健康や医療・福祉施策、都市基盤整備や子供たちの健全育成事業など、将来を見据えたまちづくりが着々と進められております。

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい生活様式を取り入れるなど、私たちの生活習慣や環境は大きく変化してきておりますが、今後はその動向や影響を見極めつつ、引き続き持続可能なまちづくりを進めていくべきものと考えております。

以上のことから、私は、令和2年度三沢市一般会計歳入歳出決算について、市民福祉の向上を図り、三沢市政発展のために必要な事業の予算執行が適切になされているものと判断し、当該決算の認定について賛成するものであります。

以上で、私の賛成討論を終わります。

○議長（小比類巻雅彦君） 以上で、討論を終結します。

これより、採決します。

認定第1号を除く認定第2号から認定第8号までの7議案は、委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） 御異議なしと認めます。

よって、認定第2号令和2年度三沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定につい

て、認定。認定第3号令和2年度三沢市食肉処理センター特別会計歳入歳出決算認定について、認定。認定第4号令和2年度三沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、認定。認定第5号令和2年度三沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、認定。認定第6号令和2年度三沢市水道事業会計決算認定について、認定。認定第7号令和2年度三沢市下水道事業会計決算認定について、認定。認定第8号令和2年度三沢市立三沢病院事業会計決算認定について、認定とそれぞれ決しました。

次に、認定第1号令和2年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は認定です。本案は、委員長報告のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（小比類巻雅彦君） 起立多数です。

よって、認定第1号令和2年度三沢市一般会計歳入歳出決算認定については、認定と決しました。

#### ◎日程第9 議案第54号

○議長（小比類巻雅彦君） 日程第9 議案第54号令和3年度三沢市一般会計補正予算（第3号）を議題とします。

予算審査特別委員会の審査報告書は、お手元に配付したとおりです。

委員長、補足して報告する事項がありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） ただいまの委員長報告に対し、質疑を行いますが、通告がありませんので、質疑を終結します。

次に、討論を行いますが、通告がありませんので、討論を終結します。

これより、採決します。

議案第54号は、委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） 御異議なしと認

めます。

よって、議案第54号令和3年度三沢市一般会計補正予算（第3号）は、可決と決しました。

---

◎日程第10 議案第55号から  
日程第19 議案第64号まで

○議長（小比類巻雅彦君） 日程第10 議案第55号三沢市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定についてから日程第19 議案第64号財産の取得についてまでの計10件を一括議題とします。

条例等審査特別委員会の審査報告書は、お手元に配付したとおりです。

委員長、補足して報告する事項がありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） ただいまの委員長報告に対し、質疑を行いますが、通告がありませんので、質疑を終結します。

次に、討論を行いますが、通告がありませんので、討論を終結します。

これより、採決します。

議案第55号から議案第64号までの10議案は、委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第55号三沢市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について、可決。議案第56号行政手続における押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について、可決。議案第57号三沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、可決。議案第58号三沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、可決。議案第59号三沢市企業立地促進条例の一部を改正する条例

の制定について、可決。議案第60号財産の取得について、可決。議案第61号財産の取得について、可決。議案第62号財産の取得について、可決。議案第63号財産の取得について、可決。議案第64号財産の取得について、可決とそれぞれ決しました。

---

◎日程第20 請願第1号

○議長（小比類巻雅彦君） 日程第20 請願第1号日米地位協定の抜本的見直しに関する請願を議題とします。

基地対策特別委員会の報告書は、お手元に配付したとおりです。

委員長、補足して報告する事項がありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） ただいまの委員長報告に対し、質疑を行いますが、通告がありませんので、質疑を終結します。

次に、討論を行います。

なお、討論の通告がありますので、発言を許します。

奥本菜保巳議員。

奥本議員。

○9番（奥本菜保巳君） 私は、請願第1号日米地位協定の抜本的見直しに関する請願書に対し、賛成の立場で討論いたします。

日米地位協定は1960年に締結されましたが、数々の問題点を指摘されながら今日まで一度も改正されていません。

全国知事会は、2018年7月27日、日米地位協定を抜本的に見直すことを全会一致で採択、国に求めています。

その内容の一部を抜粋しますと、1、米軍機による低空飛行訓練等については、国の責任で騒音測定器を増やすなど、必要な実態調査を行うとともに、訓練ルートや訓練が行われる時期について、速やかな事前情報提供を必ず行い、関係自治体や地域住民の不安を払拭した上で実施されるよう、十分な配慮を行うこと。2、日米地位協定を抜本的に見直し、航空法や環境法令などの国内法を原則と

して米軍にも適用させることや、事件・事故時の自治体職員の迅速かつ円滑な立ち入りの保証を明記すること。3、米軍人等による事件・事故に対し具体的かつ実効的な防止策を提示し、継続的に取組を進めること。以上が提起されています。

米軍基地を抱える三沢市民にとりましても、住民の命と暮らしを守るためにには、必要な見直しではないでしょうか。

日米合同委員会合意での運用の改善だけでは、解決できない問題となっています。現に、F-16 戦闘機による騒音被害や墜落事故、燃料タンク投棄、模擬弾落下、低空飛行、CV-22・オスプレイによる事前通告なしの救助訓練、低空飛行が起こっています。

ドイツ・イタリアの地位協定では、国内法が適用され、基地の管理権や緊急時の立入り権を許しています。

三沢市議会では、平成7年第3回臨時会で議員提出議案として、沖縄県における米兵による女子小学生暴行事件に抗議し、日米地位協定の見直しを求める意見書が採択され、日米地位協定の見直しを積極的に推進することを強く政府に求めています。

昨今の米軍三沢基地の訓練の激化、機能強化が進む中、私たち住民の命と暮らしを守るために日米地位協定の見直しを求めるべきだと思います。

よって、当該請願に賛成いたします。

議員各位の御賛同をよろしくお願ひいたします。

○議長（小比類巻雅彦君） 以上で、討論を終結します。

これより、採決します。

本請願に対する委員長報告は、不採択です。本請願を採択と決することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（小比類巻雅彦君） 起立少数です。

よって、請願第1号日米地位協定の抜本的に関する請願は、不採択と決しました。

---

## ◎日程第21 請願第2号

○議長（小比類巻雅彦君） 日程第21 請願第2号「学校給食の無償化」に関する請願を議題とします。

総務文教常任委員会の報告書は、お手元に配付したとおりです。

委員長、補足して報告する事項がありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） ただいまの委員長報告に対し、質疑を行いますが、通告がありませんので、質疑を終結します。

次に、討論を行います。

なお、討論の通告がありますので、発言を許します。

奥本菜保巳議員。

奥本議員。

○9番（奥本菜保巳君） 私は、請願第2号「学校給食の無償化」に関する請願書に対し、賛成の立場で討論いたします。

2017年の初等教育から高等教育の公的支出が国内総生産・GDPに占める割合は、日本が2.9%となっており、比較可能な38か国中37位であることが、OECD経済協力開発機構が2020年9月8日に発表した調査により明らかになりました。日本における教育費の予算が少ないことが指摘されています。

その上で、子育て世代にとって、子供の教育費の負担が重くのしかかっています。日本の将来にとって、子供を産み育てる環境を整備し、人口減少対策を講じて、義務教育の期間の教育に関わる負担を軽減していくかなければならないことが喫緊の課題です。

そして、その課題の一つに義務教育期間の学校における完全給食の無償化があります。地域を理解することや食文化の継承、自然の恵みなどを理解する上で、食は重要な教材です。学校給食は、食教育の生きた教材、食の教科書として、学校教育法でも教育活動の一環に位置づけられています。

憲法では、義務教育の無償化を掲げております。給食も無償にするべきだと思います。現在、給食費の無償化を実施している自治体もあります。

そもそも、公教育の機会均等の立場から、同じ日本の子供なのに地域によって教育費の負担に著しい格差を生じさせていいのでしょうか。親として、子供の教育費くらい払うのは当然とか、低所得の家庭に対しては就学援助制度の準要保護で給食費は無償となっているという声もありますが、全ての子供たちが、どこに住んでいても無償となるよう、国の責任において給食費の無償化を実現させるべきだと思います。

よって、以上の観点から当該請願に賛成をいたします。

議員各位の御賛同をよろしくお願ひいたします。

○議長（小比類巻雅彦君） 以上で、討論を終結します。

これより、採決します。

本請願に対する委員長報告は不採択です。本請願を採択と決することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（小比類巻雅彦君） 起立少数です。

よって、請願第2号「学校給食の無償化」に関する請願は、不採択と決しました。

## ◎日程第22 議員提出議案第5号

○議長（小比類巻雅彦君） 日程第22 議員提出議案第5号コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（案）の提出についてを議題とします。

提案理由の説明を願います。

総務文教常任委員会、小比類巻孝幸委員長の登壇を願います。

小比類巻議員。

○4番（小比類巻孝幸君） 議員提出議案第5号コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（案）の提出について、提案理由を御説明申し上げま

す。

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、地域経済にも大きな影響が及んでおり、今後も引き続き地方財政は厳しい状況に直面しています。そのため、地方税財源の充実確保を強く国に求めていくことについて、地方自治法第99条の規定により、意見書を国会、関係行政庁に提出するため提案するものです。

なお、詳細については、議案書に記載のとおりでございます。

議員各位の御賛同のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

○議長（小比類巻雅彦君） 次に、お手元に配付しております意見書案を局長に朗読させます。

○事務局長（蹴揚光昭君） 朗読します。

### 意見書第1号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（案）

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

### 記

1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよ

う実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしづ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。

- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとするこ
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時の軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。  
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月17日

青森県三沢市議会

(提出先)

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

内閣官房長官

総務大臣

財務大臣

経済産業大臣

経済再生担当大臣

以上でございます。

○議長（小比類巻雅彦君） お諮りします。

この議案は、議員提出議案でもありますので、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略し、本会議審議したいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） 御異議なしと認め、委員会付託を省略します。

これより、質疑を行いますが、通告がありませんので、質疑を終結します。

次に、討論を行いますが、通告がありませんので、討論を終結します。

これより、採決します。

議員提出議案第5号は、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） 御異議なしと認めます。

よって、議員提出議案第5号コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（案）の提出については、原案のとおり可決と決しました。

## ◎日程第23 基地対策特別委員会 中間報告

○議長（小比類巻雅彦君） 日程第23 基地対策特別委員会中間報告を議題とします。

佐々木卓也委員長。

○8番（佐々木卓也君） 本委員会において審査中の事件について、会議規則第45条第2項の規定に基づき、中間報告をいたします。

本委員会では、さきの会議で決定した今年度の基地周辺対策に関する7項目の要望事項について、7月14日に東北防衛局へ、また、同日と翌15日には、私と副委員長並びに議長が副市長とともに防衛省と県選出国会議員に対し要望行動を実施いたしました。

今回の要望行動では、未解決事案を一歩でも前進させたいという思いから、昨年度までの要望事項を7項目に絞り、特に岡三沢地区に関しては、第2種区域と同等の騒音値が測

定されていることから、センター見直しを前提とした本格的な騒音度調査の実施や三沢飛行場第2滑走路の早期着工、また、新規要望である空気調和機器の寒冷地仕様の適用などについて、早期の実現を求め、本市の実情を強く訴えてきたところであります。

しかしながら、岡三沢地区の移転措置に関しては、騒音状況をより精緻に把握する必要があり、以前に行われた騒音調査と同じ場所に騒音測定器1台を増設し、本年8月1日から運用開始する予定であるとの回答はあったものの、結果としては、引き続きF-35Aの配備状況や岡三沢地区における調査結果等を踏まえ、どのような対応が可能かしっかりと検討したいという、昨年と同様の回答があり、また、今後F-35Aが全43機配備されたとしても、飛行回数は現在と変わらないことが予測されるため、すぐにでも本格的な騒音度調査を実施すべきとの我々の意見に対しては、全機が配備された後の運用態勢については把握していないなど、不明確な回答が示されました。

続いて、三沢飛行場第2滑走路の早期着工については、昨年8月に設置された三沢飛行場のあり方研究チームの会議は2回しか開催されておらず、引き続き当該研究チームにおける協議の場を活用し、三沢市と緊密に調整してまいりたいとの回答がありました。

また、エアコンの設置については、FFストーブ設置金額の範囲内での設置は可能であるが、寒冷地仕様などの高額なエアコンについては、不足分が自己負担になるととの回答がありました。

今回の要望行動では、防衛省において三沢基地における運用態勢など把握せずに、騒音度調査の実施を先延ばししていることや、コロナ禍とはいえ第2滑走路早期着工の議論の進展が見られないこと、近年の気候変動の状況下において現状と乖離している民生安定対策の基準改正がなされていないことなど、防衛省からの回答については到底納得できるものではありませんでした。

そのようなことから、市民の民生安定、福祉向上に欠かすことのできない当該要望事項については、その実現に向け、さらに強固な姿勢で、国に対し本市の実情を強く訴えていかなければならないと感じたところであります。引き続き委員会活動を継続してまいりたいと考えております。

以上、引き続き閉会中の継続審査とすることを申し添え、基地対策特別委員会の中間報告といたします。

○議長（小比類巻雅彦君） これより、質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） ないようすで、質疑を終結します。

お諮りします。

この報告は、委員長報告のとおり、引き続き閉会中の継続審査にしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） 御異議なしと認めます。

よって、基地対策特別委員会については、引き続き閉会中の継続審査とします。

---

#### ◎日程第24 移住・定住促進対策 特別委員会中間報告

○議長（小比類巻雅彦君） 日程第24 移住・定住促進対策特別委員会中間報告を議題とします。

春日洋子委員長。

○14番（春日洋子君） 本委員会において審査中の事件について、三沢市議会会議規則第45条第2項の規定に基づき、中間報告をいたします。

本委員会は、去る8月24日に委員会を開催し、第2期三沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、自慢したくなるまちを基本目標とした施策の中から、共生社会の推進について調査をいたしました。

当市の共生社会の実現に向けたこれまでの動きとしては、平成27年に東京2020オ

リンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、活動推進方針を策定し以来、ユニバーサルデザインのまちづくりや心のバリアフリーに積極的に取り組み、昨年4月には、三沢市障害のある人もない人も幸せに暮らせる共生のまちづくり条例の施行、本年4月には、三沢市手話言語条例を施行するなど、ユニバーサルタウン三沢の実現を目指し、各種施策を展開しておりました。

三沢市の障害者手帳所持者数は、令和3年3月末現在、身体障害者手帳1,242人、愛護・療育手帳300人、精神障害者保健福祉手帳318人の合計1,860人となっており、平成28年3月末の合計1,853人とほぼ変わらない状況で推移しているとのことでありました。

障害者への理解を促進するための啓発活動としては、市職員の研修及び一般市民向けの講演会のほか、小中学生を対象としたユニバーサルマナー教室では、障害当事者講師を招き実施しており、その児童数は、平成29年度から昨年度までで約1,900人に及んでおり、今後においても継続して実施することにより、障害者への理解がより図られるものとなっておりました。

障害者の就労と雇用への支援としては、市役所ロビーでの福祉アンテナショップの定期的な開催、障害者支援ウェブポータルサイトの開設などのほか、本年1月、事業所471社及び誘致企業18社に対し、障害者雇用に関するアンケート調査を実施しており、この調査結果を参考にしながら、今後、民間事業者を対象とした障害者理解研修の開催を予定しており、就労と雇用への支援の拡充に取り組んでおりました。

また、市内の店舗等のバリアフリー化工事に対するユニバーサルデザイン推進補助金の交付や、本年3月に策定した三沢市バリアフリーマスターplanや、三沢市バリアフリーマップの作成など、障害の有無にかかわらず、全ての人に優しいユニバーサルデザインのまちづくりを推進しておりました。

当市の共生社会の推進に係る各種施策の実施により、社会に実在するあらゆる差別やバリアを取り除き、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、誰もが輝き暮らせる社会の実現を目指すことは、魅力ある居住環境の形成に結びつくものと考えております。

以上、引き続き閉会中の継続審査とすることを申し添え、移住・定住促進対策特別委員会の中間報告といたします。

○議長（小比類巻雅彦君） これより、質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） ないようすで、質疑を終結します。

お諮りします。

この報告は、委員長報告のとおり、引き続き閉会中の継続審査にしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） 御異議なしと認めます。

よって、移住・定住促進対策特別委員会については、引き続き閉会中の継続審査とします。

---

## ◎日程第25 産業建設常任委員会 所管事務調査報告

○議長（小比類巻雅彦君） 日程第25 産業建設常任委員会所管事務調査報告を議題とします。

下山光義委員長。

○7番（下山光義君） 去る8月23日及び27日並びに9月3日に開催いたしました産業建設常任委員会所管事務調査の内容について、三沢市議会会議規則第103条の規定に基づき、御報告申し上げます。

今回は、八戸港沖貨物船座礁に係る三沢市への影響について、令和2年度の除雪業務について、市営住宅の現状と今後の整備計画について、スカイプラザミサワの運営状況についての4件について所管事務調査を行いました。

はじめに、八戸港沖貨物船座礁に係る三沢市への影響についてであります。

本件については、8月11日にパナマ船籍の貨物船が八戸港沖で座礁し、翌12日に船体が折れ、重油と積荷が流出した事故に関して、8月23日及び27日に現地調査を含む委員会を開催したところであります。

市当局からの説明では、重油及び積荷のウッドチップが当市の海岸に漂着し、また、船体の一部であるカーゴハッチについても、ビードルビーチ南側に漂着したとの説明がなされました。現地確認では、重油の流入を防いでいるオイルフェンスの設置状態や市内海岸の重油による汚染状況等を確認し、事態の収束に向け漂着物の除去作業が順調に進められていることを確認しました。

しかしながら、風評被害やホッキ貝等への影響、海洋環境の変化等に対しては、まだまだ不確定な部分が多いことから、当委員会としては、今後も市当局に報告を求めながら、引き続きその動向を注視したいと考えております。

次に、令和2年度の除雪業務についてであります。

令和2年度は、当該年度を含んだ過去5年の降雪量と比較しても、災害に匹敵する規模の大雪であったこと、除雪に要する予算が多額であり、市民からの苦情件数も非常に多かったことなどの説明がなされました。

また、G P S管理システムの試験導入と積雪深観測システムを試験導入した結果、G P S管理システムに関しては、道路管理者が除雪車の稼働状況等を把握することができるようなシステムの導入を検討しているところであります。また、積雪深観測システムに関しては、現段階での導入は見送ることとするが、今後、急激な進歩が見込まれる情報通信技術を除雪業務に活用することで、市民サービスの向上に努めたいとの説明がありました。

当委員会では、市が受託業者への技術指導を行い、市民生活に支障が出ないように新たな除雪システムを構築するよう提言したとこ

ろであります。

次に、市営住宅の現状と今後の整備計画についてであります。

市当局からは、市内11か所にある市営住宅の入居状況や老朽化が著しい施設の大規模改修計画について説明がありました。改修計画では、これまでの管理戸数は450戸であったが、三沢市公営住宅等長寿命化計画策定により、令和10年度における市営住宅の必要戸数が397戸と示されたことから、約50戸減の400戸となるよう各建替事業を進めており、第1岡三沢団地については、建て替えせずに廃止する計画であること等が説明されました。

委員会では、駅東団地の建て替えについて、中心市街地に場所を変更したほうがよいのではとの意見がありました。今現在の居住者の多くが現在の場所での生活を希望していること、また、周辺に新しい道路の整備も予定されており、生活の利便性が図られること等各種検討した結果、現在の場所に建て替えすることになりました。

当該案件については、社会情勢や市の財政状況等を踏まえつつ、柔軟かつ慎重な姿勢で事業を進めるよう、提言したところであります。

最後に、スカイプラザミサワの運営状況についてであります。

スカイプラザミサワ株式会社の運営状況について、当該株式会社の株主でもある市当局より、その株主総会資料を基に報告がなされました。

内容としては、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受けたとのことで、テナント部門については、家賃の減額措置等により退店や閉店するテナントもなく、入居率100%を維持することができたが、直営小売部門では大幅に減収減益となったこと等が説明されました。

当該施設は、中心市街地の重要な拠点施設であり、その存続のためには抜本的な経営改革が必要と思われることから、担当課にはス

カイプラザミサワとこれからの方針について検討していただき、当委員会としては、今後も市からの融資金が全額返済となるまで継続した審査をし、その動向を注視していきたいと考えております。

以上、産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長（小比類巻雅彦君） これより、質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） ないようですので、質疑を終結します。

産業建設常任委員会の所管事務調査については、委員長報告のとおり御了承願います。

---

#### ◎日程第26 民生常任委員会所管事務調査報告

○議長（小比類巻雅彦君） 日程第26 民生常任委員会所管事務調査報告を議題とします。

田嶋孝安委員長。

○5番（田嶋孝安君） 去る9月8日に開催いたしました民生常任委員会所管事務調査の内容について、三沢市議会議規則第103条の規定に基づき、御報告申し上げます。

今回の会議では、全国的に感染者が急増し、第5波と呼ばれる状況の中、新型コロナウイルス感染症に係る三沢市の状況について所管事務調査を行いました。

市当局の説明では、今年の1月の正月明け、4月の異動時期、そして8月のお盆明けと人流の増加が予想される時期の後に、市立病院での発熱外来やPCR検査数が増えていることありました。

また、上十三地域における感染者数は、4月から7月にかけては月に10人から50人程度だったものの、8月には一月に123人と急激に増加しており、県の発表では、三沢市は11人から50人の間であるとのことでありました。

また、ワクチン接種に関しては、9月1日現在では高齢者の1回接種者は93.78

%、2回接種者は92.36%、12歳以上の接種対象者で見ると、1回接種者が56.75%、2回接種者が45.68%となっており、全国及び県の接種率より多少低くなっています。

しかしながら、今後の接種計画では、10月末時点での接種対象者の80%が接種できる態勢であり、11月以降、集団接種については段階的に縮小できるとのことであることから、全体としては順調に進んでいることを確認させていただきました。

ワクチン接種については、今後、12歳以上の若年層が接種することとなりますが、多様な情報社会の中で、ワクチン接種について不安を感じさせるような情報が飛び交うなど、ワクチン接種推進に対する課題があることから、当委員会としては、若年層の接種対象者及びその保護者に対し、国などからの情報を的確に伝えるべきとの提言をしたところあります。

なお、今回の案件であります新型コロナウイルス感染症に関しては、先を見通すことが非常に難しい案件であり、また、市内経済などにも大きな影響を与えることから、今後においても当市や近隣地域の環境状況により、必要に応じて調査を行ってまいりたいと考えております。

以上、民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長（小比類巻雅彦君） これより、質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小比類巻雅彦君） ないようですので、質疑を終結します。

民生常任委員会の所管事務調査については、委員長報告のとおり御了承願います。

---

○議長（小比類巻雅彦君） 以上で、本定例会に付議された事件は、全て議了いたしました。

---

#### ◎市長挨拶

○議長（小比類巻雅彦君） ここで、市長より発言の申出がありますので、この際、発言を許します。

市長。

○市長（小檜山吉紀君） おはようございます。

令和3年三沢市議会第3回定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げる前に、議長のお許しをいただきまして、先ほど表彰されました議員に一言お祝いを申し上げます。

去る5月26日に開催されました全国市議会議長会第97回定期総会におかれまして、全国市議会議長会評議員としての感謝状を小比類巻雅彦議員が受賞されましたことは、誠にめでたく、市民とともに心からお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、市議会議員として、三沢市の発展はもとより地方自治の振興に大きく御貢献された功績によるものであり、誠に名誉なことであります。受賞されました議員には、さらなる御隆盛を祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本当におめでとうございました。

さて、今定例会は、去る9月6日に開会され、本日まで12日にわたり令和2年度三沢市一般会計及び特別会計並びに企業会計の決算認定をはじめ、令和3年度三沢市一般会計補正予算（第3号）のほか、行政運営上必要な条例の制定等全19の案件について、慎重なる御審議を賜り、それぞれ原案どおり御議決、御認定を賜りまして、衷心より感謝申し上げます。

御議決を賜りました各議案の執行に当たりましては、御審議の過程におきまして議員各位から賜りました御意見、御提言等を十分尊重し、最善の効果を収めるよう努力を傾注してまいりますので、何とぞ一層の御支援、御協力をお願い申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

大変ありがとうございました。

○議長（小比類巻雅彦君） これをもちまして、令和3年三沢市議会第3回定例会を閉会します。

お疲れさまでした。

午前11時01分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

令和　　年　　月　　日

三沢市議会議長　　小比類巻　雅彦

三沢市議会副議長　瀬崎　雅弘

会議録署名議員　久保田　隆二

会議録署名議員　森　三郎